

三の丸尚蔵館の開館に向けて

令和4年12月
観光庁

- 1. 観光の現状**
- 2. 観光の今後の方向性**
- 3. 三の丸尚蔵館の開館に向けて**

【参考】

令和4年度観光庁補正予算(案)

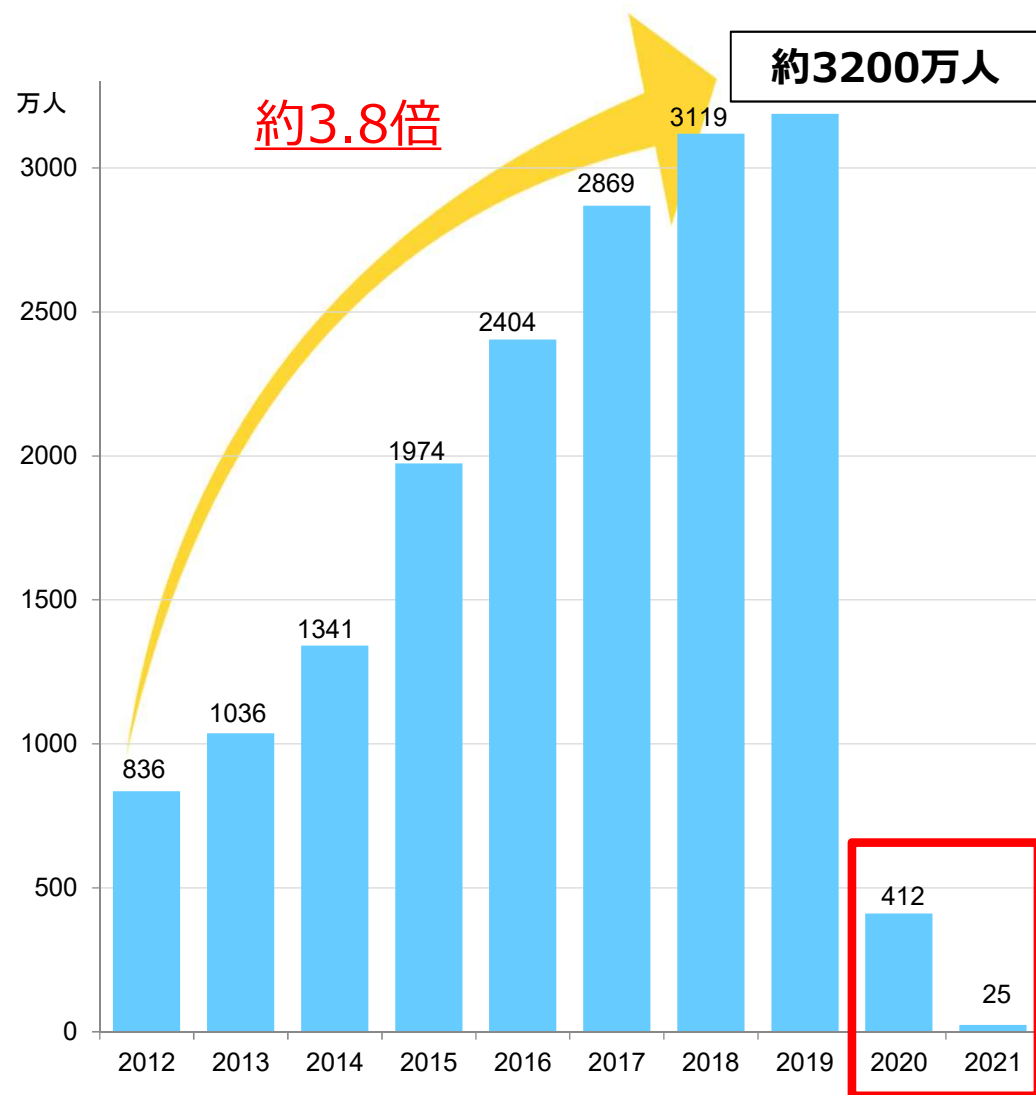
1. 観光の現状

インバウンドの増加と新型コロナの影響

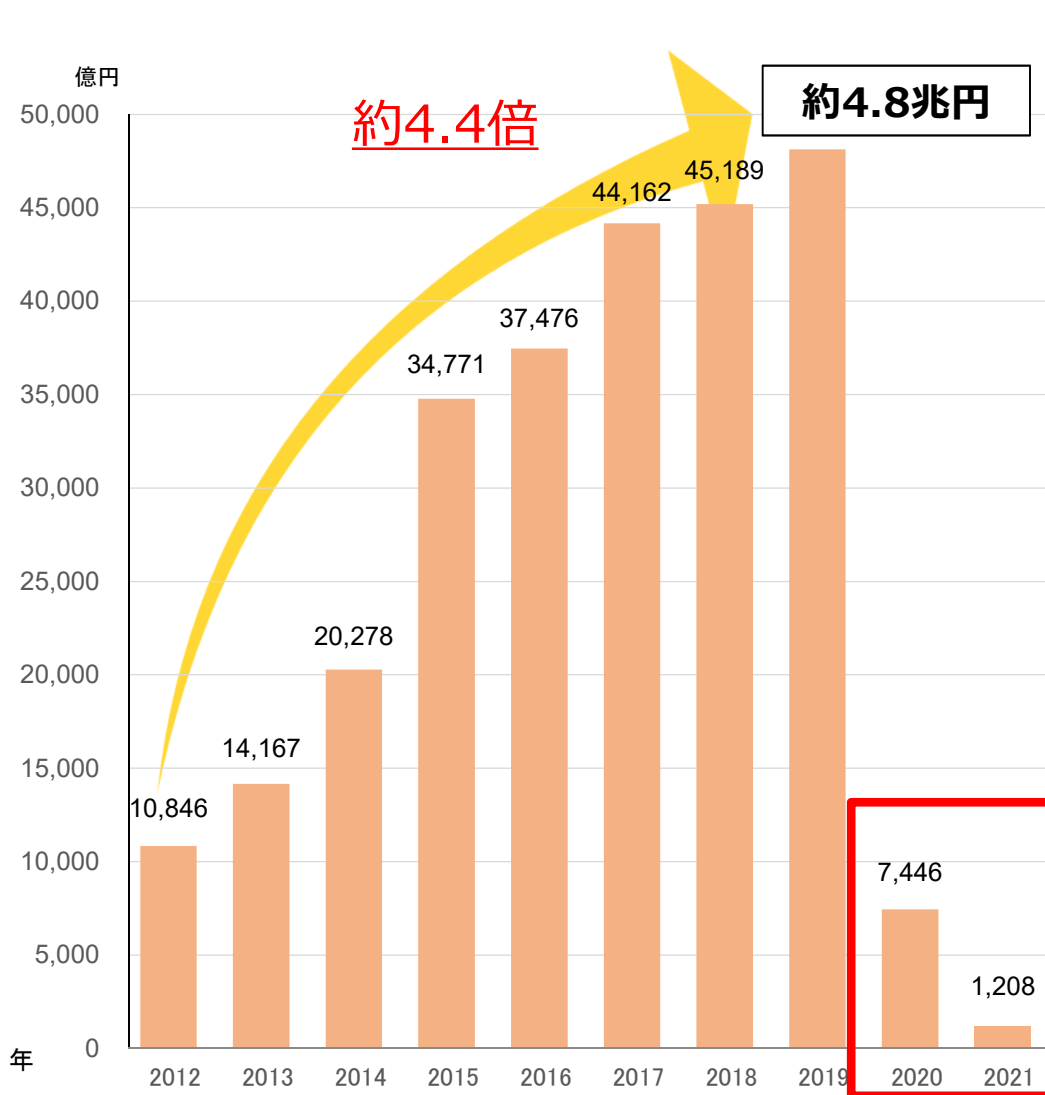
- 2019年まで、訪日外国人旅行者数（約3200万人）と消費額（約4.8兆円）は飛躍的に増加
- 新型コロナの影響により、2020年以降、大幅な落ち込み

※アジア太平洋地域の航空旅客数の2019年水準への回復は2025年との国際機関（IATA）の予測あり

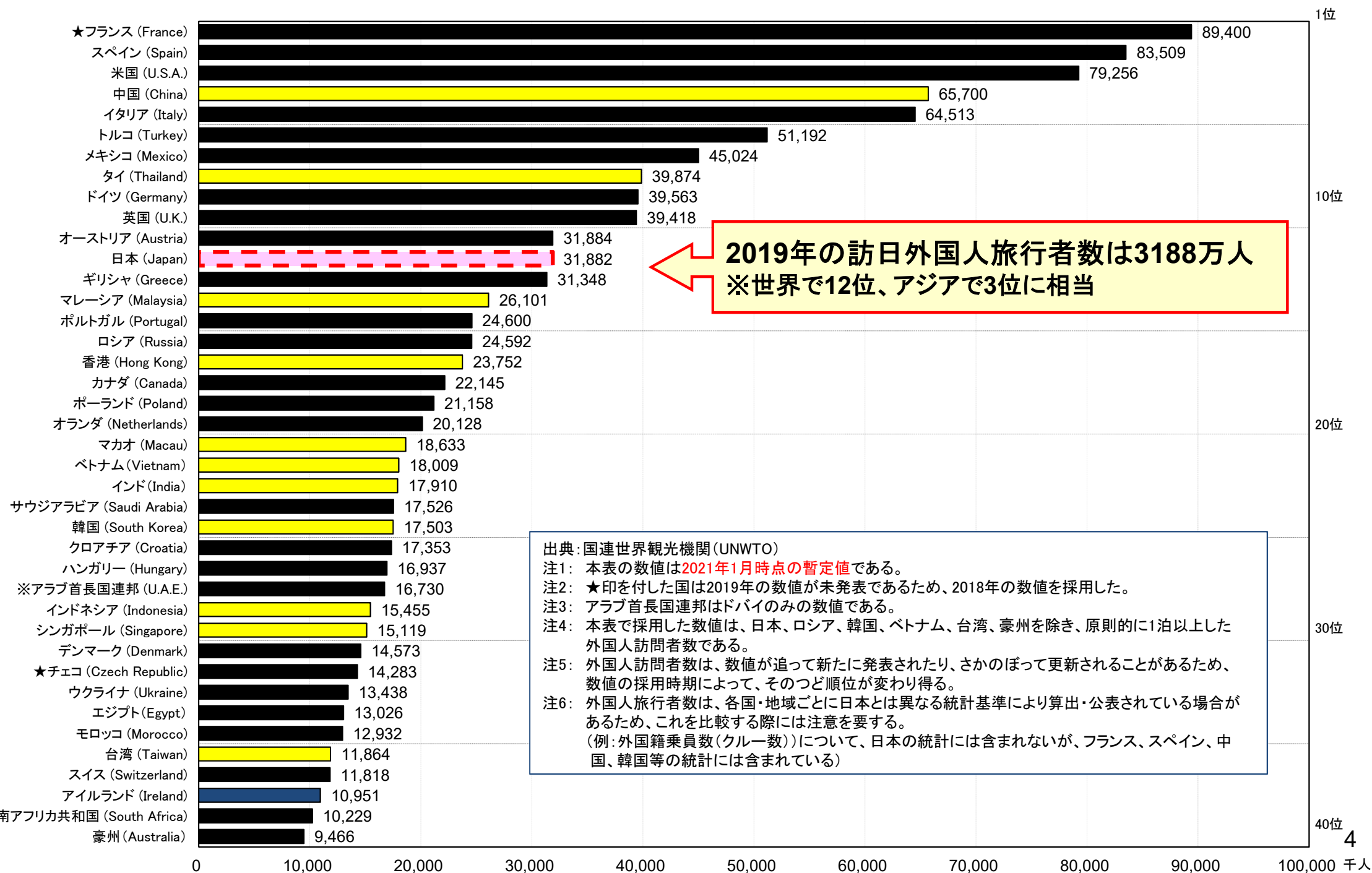
訪日外国人旅行者数の推移



訪日外国人旅行者による消費額の推移



外国人旅行者受入数の国際比較(2019年)



観光立国実現のための主な取組①

・ビザの戦略的緩和（主要な緩和の一例）

2013年	タイ IC旅券ビザ免除
マレーシア	IC旅券ビザ免除再開
2014年	インドネシア IC旅券事前登録制によるビザ免除
2015年	中国 相当な高所得者用数次ビザの導入
2017年	ロシア 数次ビザ導入
中国	十分な経済力を有する者向け数次ビザの導入
2019年	中国 同数次ビザの発給対象者の拡大
インド	数次ビザの発給対象者の拡大



日中首脳会談でビザ緩和を公表（2019年1月導入）

その他、ビザの発給要件緩和や対象者の拡大を毎年実施。

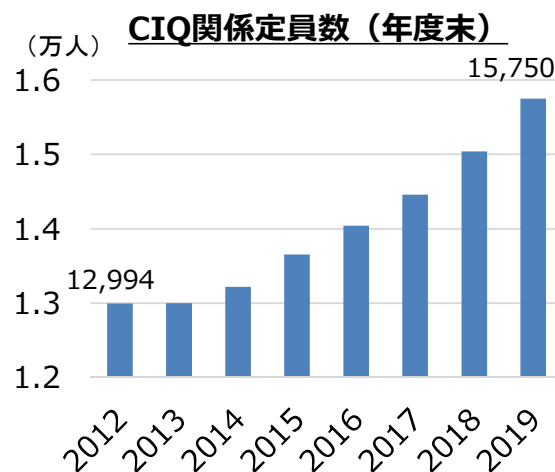
・空港・港湾の機能強化・受入体制（CIQ）の拡大

空港発着枠の拡大

2020年	成田空港：+約4万回
	羽田空港：+約4万回
	那覇空港：+約8万回



約600万人の枠の追加



訪日客増に対応した体制強化

・消費税の免税店拡大、免税品拡大

免税店数の推移



（2014年10月運用開始）
・一般物品に加え、消耗品も消費税の免税対象に追加
→ 地域の名産品も対象に

（2016年5月運用開始）
・一般物品の購入下限額引下げ
→ 下限額を1万円超から5千円以上に

（2018年7月運用開始）
・一般物品と消耗品の合算
→ 合算で下限額5千円以上に

・国際観光旅客税の導入

新たに観光政策に必要な財源を確保するために、
2019年1月から国際観光旅客税（令和2年度：540億円）を導入

1. ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備



自動チェックイン機



顔認証ゲートの導入

等

2. 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化



グローバルキャンペーン等の先進的プロモーション



等

3. 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上



日本博を契機とした観光コンテンツの拡充

等

観光立国実現のための主な取組②

・魅力ある公的施設・インフラの 大胆な公開・開放



迎賓館



首都圏外郭放水路



三の丸尚蔵館



皇居東御苑

・文化観光の推進



多言語解説の充実



夜間開館とあわせた
コンテンツの造成

・「国立公園満喫プロジェクト」 の実施



「ザ・リッツ・カールトン
日光」2020年夏開業



ビジターセンターに
カフェを併設

等

・基本的な受入環境整備



キャッシュレス対応



無料Wi-Fi
駅・空港での
多言語アナウンス

・外国人が楽しめる 新たなコンテンツの開発



農泊



スノーリゾート

・戦略的な訪日プロモーション



現地消費者向け
旅行博出展



海外広告宣伝の
実施



2. 観光の今後の方向性

令和4年10月11日（火） 観光立国推進閣僚会議 岸田総理ご発言

観光立国の復活に向けて、次の3点の取組が重要です。

- 第一に、旅行消費の早期回復、特に、インバウンド消費については、円安の効果も生かし、速やかに5兆円超を達成することを目指し、関係省庁の政策を総動員して、総合経済対策に向けて、集中的な政策パッケージをまとめてください。
- 第二に、持続可能で高付加価値な観光産業の実現を目指し、本日いただいたご意見も踏まえ、総合経済対策に、宿泊施設のリノベーション支援を盛り込み、取組を加速させてください。
- 第三に、世界的な旅行需要の回復が見込まれ、大阪・関西万博が開催される2025年をターゲットに、我が国の観光を持続可能な形で復活させるため、新たな「観光立国推進基本計画」を、今年度末までに策定してください。

○ 人口減少を迎えている我が国において、国内外からの交流人口を生み出す観光は、成長戦略の柱、地域活性化の切り札として期待されている重要な分野。

国内交流拡大戦略

- 全国旅行支援等の国内需要喚起
- 第2のふるさとづくり(継続した来訪の促進)
 - ワークেশョン

インバウンド回復戦略

- インバウンドV字回復に向けた集中的取組
- 消費額増加と地方誘客の促進
 - 高付加価値なインバウンドの誘致

高付加価値で持続可能な観光地域づくり戦略

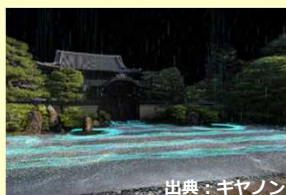
- 宿の改修等、観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 自然、文化の保全と観光の両立等、持続可能な観光地域づくり
 - 地域に根付く観光資源の磨き上げ、観光DX

インバウンドのV字回復に向けた2025年までの集中的取組

- 2025年に向けて、インバウンドのV字回復を図るため、全国津々浦々で観光回復の起爆剤となる取組を集中的に実施
- 地域の関係者の発意による特別な体験や期間限定の取組等を全世界に発信しつつ、モデルツアーの造成も通じ、誘客の促進につなげる

※個々の取組は、イメージ

特別な体験の提供



建仁寺での最新技術を活用した映像体験
(京都府)
2022年



姫路城世界遺産登録30周年
天守等の限定公開
(兵庫県)
2023年



明王院五重塔の内部公開
(広島県)
2024年



都塚古墳の内部公開
(奈良県)
2022年



弘法大師生誕1250年
坐像の限定公開
(和歌山県)
2023年



正倉院関連イベント
(奈良県)
2025年

大自然の魅力を活かした新たな体験の提供



阿寒摩周国立公園での
夜間イベント (北海道)
2022年



高級ホテルの開業予定 スノーリゾートに
ニセコ町 (北海道) おけるゴンドラ増設
(長野県)
2023/2024年



黒部宇奈月キャニオンルート
開業 (富山県)
2024年

イベントをフックとした誘客の促進



ジブリパーク開業
(愛知県)
2022年11月



「和食」
世界遺産登録10周年
2023年



世界遺産登録を目指す
「伝統的酒造り」
2024年



世界陸上
瀬戸内国際芸術祭
2025年

広告展開イメージ

10月11日から個人旅行や査証免除が再開
となり日本の観光が再始動します

WELCOME BACK to JAPAN !

Visa-free entry for individual travellers resumes on October 11

SNSによる歓迎メッセージの発信



テレビCMによる日本の魅力の発信



オンラインによる未訪日層に向けた展開

- 宿泊施設のリニューアルや廃屋撤去、DX化など、観光地・観光産業の高付加価値化の取組を推進し、地域の「稼ぐ力」の回復・強化を図る。

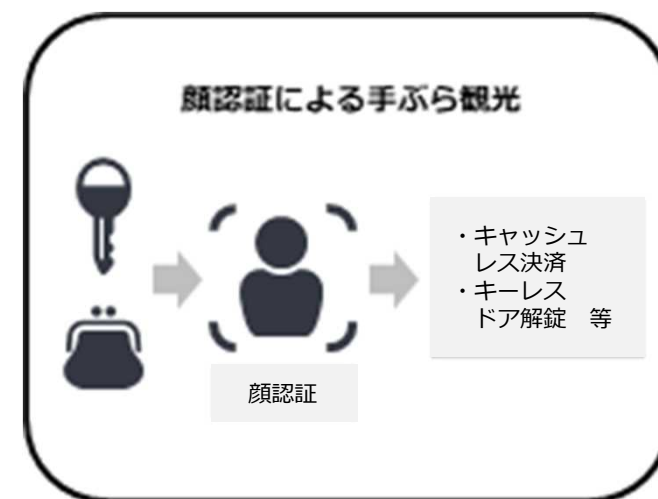


観光地の面的再生に資する宿泊施設の大規模改修支援の例
(山形県銀山温泉「天童温泉」)



※撤去後の施設整備は、イメージ

観光地の景観改善等に資する廃屋の撤去支援 (伊香保温泉)



面的DX化支援

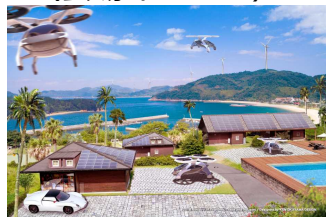
- 観光により全国各地で地域活性化を図るとともに、持続可能な形で観光を復活させる
- 国内旅行の回復を図りつつ、消費額・地方誘客を重視したインバウンドの本格回復を目指す
- インバウンドのV字回復に向け、円安の効果も生かし、集中的な取組の展開や観光地の再生・高付加価値化等の取組を推進する
- 世界的な旅行需要の回復が見込まれ、大型イベントも予定される2025年に向けて、計画的に取組を推進する

大阪・関西万博2025

- ・20年ぶりの日本開催
- ・想定来場者数 2,820万人
(うちインバウンド350万人)



©提供：2025年日本国際博覧会協会
(会場イメージ)



©出典：経済産業省ウェブサイト
(https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/181220uamroadmap.html)
(空飛ぶクルマの実験場)

世界陸上2025 (東京)

- ・18年ぶりの日本開催
- ・世界中のアスリートが集結



(国立競技場)

全国各地



© Studio Ghibli
(ジブリパーク：2022年11月開業)



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年
直島・宮浦港緑地 写真/青地 大輔
(瀬戸内国際芸術祭：2025年)

インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ

○ インバウンドの本格的な回復に向け、日本各地の魅力を全世界に発信する「観光再始動事業」をはじめ、関係省庁の施策も総動員して集中的な取組を実施 → 円安のメリットを活かし、**インバウンド消費5兆円超**の速やかな達成を目指す

1. 特別な体験の提供

世界遺産姫路城の天守閣の限定公開など、全国津々浦々で特別な体験や期間限定の取組の提供を推進

- ・観光再始動事業【観光庁】
- ・高付加価値旅行者誘客支援【観光庁】
- ・歴史的資源を活用した観光まちづくりの促進【観光庁】
- ・日本博を契機とした観光コンテンツの拡充（日本博2.0）【文化庁】
- ・酒蔵ツーリズムの推進【国税庁】
- ・地域一体型ガストロノミー（美食）ツーリズムの推進【観光庁】
- ・地域の食体験コンテンツの造成・磨き上げ、一元的な情報発信【農水省】
- ・文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業【文化庁】
- ・日本遺産活性化推進事業【文化庁】
- ・三の丸尚蔵館の整備・収蔵品の地方展開【宮内庁・文化庁】
- ・正倉院関連イベント【宮内庁・文化庁】
- ・迎賓館における特別企画の実施【内閣府】
- ・デジタル田園都市国家構想交付金の活用【内閣府】 等



姫路城世界遺産登録30周年
天守閣等の限定公開（2023年・兵庫）

2. 大自然の魅力を活かした新たな体験の提供

アドベンチャーツーリズム（※）等の新コンテンツ提供を推進。
国立公園等の取組も、夜間活用の促進など、もう一段深化

※自然と触れ合うアクティビティ等。2026年には世界で173兆円まで成長との予測あり
※出典：Allied Market Research

- ・観光再始動事業【観光庁】（再掲）
- ・持続可能なコンテンツ造成等支援【観光庁】
- ・国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業【観光庁】
- ・国立公園満喫プロジェクト【環境省】
- ・官民連携による国立公園の魅力向上とインバウンド促進対策【環境省】
- ・官民連携等による地域観光等の拠点となる都市公園の整備等【国土交通省】
- ・地域のコンテンツ連携促進（長期滞在向け周遊ルートの形成支援）【観光庁】
- ・農泊の推進【農水省】
- ・サイクルツーリズムの推進【国土交通省】
- ・ガーデンツーリズムの推進による地域の活性化【国土交通省】
- ・国立公園における利用拠点再生促進事業（景観改善）【環境省】
- ・自然公園等事業等（展望台改修等）【環境省】
- ・民族共生象徴空間（ウボロイ）への誘客促進【国土交通省】 等



阿寒摩周国立公園での
夜間特別イベント
（2023年・北海道）

3. イベントをフックとした誘客の促進

観光×アート、スポーツ、テーマパーク関連イベントなどによる全国各地への誘客を促進

- ・観光再始動事業【観光庁】（再掲）
- ・大規模国際スポーツ大会開催準備【スポーツ庁】
- ・アートの国際拠点化、国際的な芸術祭の活用【文化庁】
- ・国際会議及びインセンティブ旅行誘致力向上【観光庁】 等



ジブリパーク開業
（2022年11月・愛知）

4. 戦略的なプロモーション、CIQ等の受入環境整備

日本の観光の再始動をSNSやテレビCM等も活用して戦略的に発信。CIQ体制の更なる高度化など受入環境整備を推進

<戦略的なプロモーション>

- ・観光再始動事業【観光庁】（再掲）
- ・戦略的な訪日プロモーションの実施【観光庁】
- ・外国人旅行者向け免税制度の利用促進【観光庁】
- ・地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援【観光庁】
- ・国際交流基金（JF）による地域の魅力の発信【外務省】
- ・「ジャパン・ハウス」を通じた多様な魅力の発信【外務省】
- ・コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業【経産省】 等

<受入環境整備>

- ・受入環境整備緊急対策事業（キャッシュレス化、多言語化等）【観光庁】
- ・国際線の受入再開に向けた受入環境高度化等への支援【国土交通省】
- ・地方空港における国際線再開・増便等の促進【国土交通省】
- ・戦略的な査証緩和、査証審査の体制整備等【外務省】
- ・円滑な出入国管理の実現（イミグレーションアテンダントの配置）【入管庁】
- ・相互事前旅客情報システム（iAPI）の導入【入管庁】
- ・地方空港における検疫業務実施体制の整備【厚労省】
- ・円滑な入国に向けた税関体制整備【財務省】
- ・面的地域価値の向上・消費創出事業（商店街）【経産省】 等

3. 三の丸尚蔵館の開館に向けて

税率 : 日本からの出国 1 回につき 1, 0 0 0 円 (2 歳未満の乳児又は幼児等は課税されない)

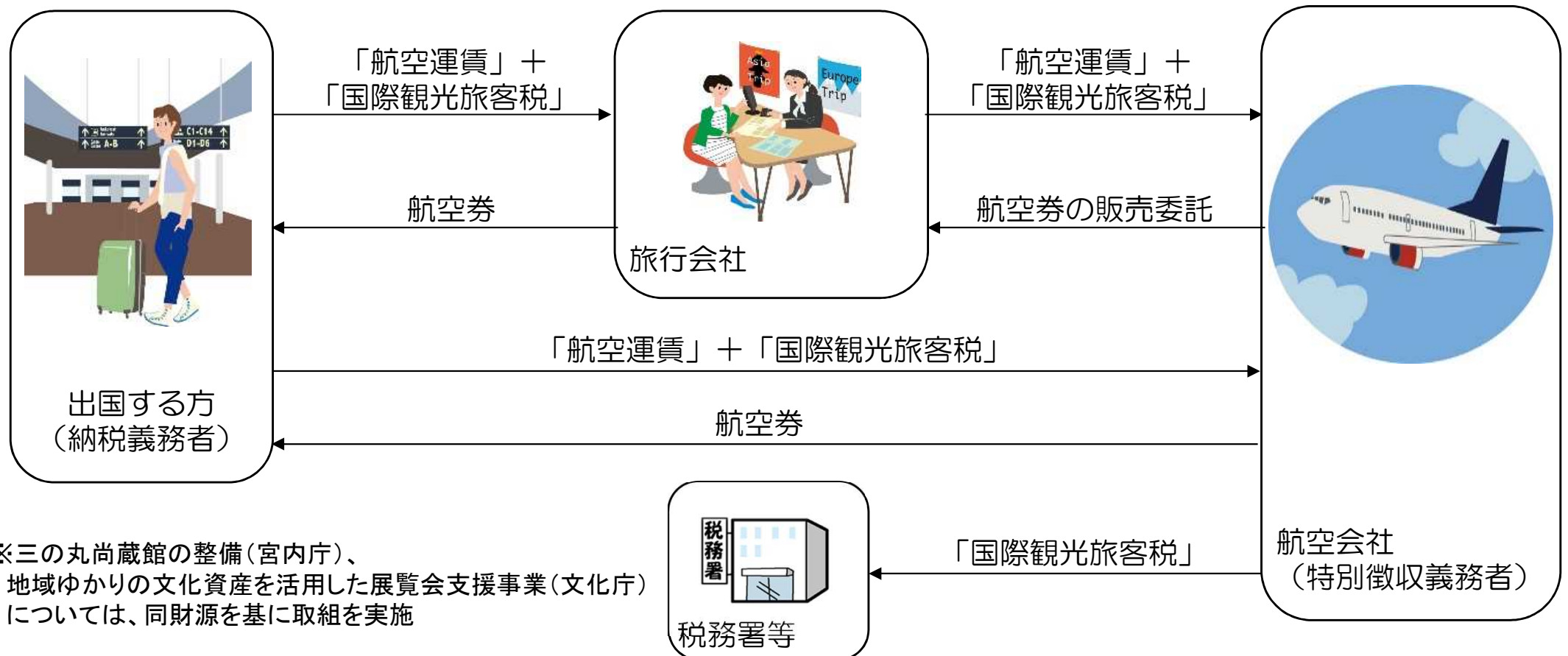
納付方法 : 原則として、船舶会社又は航空会社 (特別徴収義務者) が、チケット代金に上乗せする等の方法で、日本から出国する方 (納税義務者) から「国際観光旅客税」を徴収し、国に納付。

用途 : ①ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備、②日本の多様な魅力に関する情報の入手の容易化、③地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等 の 3 つの分野に活用。

適用時期 : 平成31年 1 月 7 日 (月) 以後の出国に適用

(「平成31年 1 月 7 日より前に発券された航空券により、平成31年 1 月 7 日以後に出国される方」等は除く)

～ 航空機を利用する場合のイメージ図 ～



①データと優良事例を踏まえた取組

- ・観光客の国籍や動向等について把握し、データに基づいた効果的な情報発信、商品販売、ツアー造成、魅力的な展示等へ活用
- ・国内外における博物館・美術館等での優良事例を踏まえた取組の改善

②富裕層・外国人観光客対応

- ・特別時間による貸し切り、プライベートで個別最適化されたサービスの提供、文化財に知見を有する通訳ガイドによる解説等、三の丸尚蔵館ならではの、新規性が高く特別な体験や期間限定の取組の造成
- ・多言語による解説、三の丸尚蔵館の関連商品や入館チケットのオンライン販売、キャッシュレス決済の対応等の受入環境の整備

③立地を生かした面的な展開への取組み

- ・希有で価値の高い立地を生かし、東京の観光関係団体や近隣宿泊施設等と連携しつつ、看板となるような体験コンテンツ・商品開発等を推進

④国外への積極的な情報発信

- ・JNTO(日本政府観光局)等の観光関係団体と連携し、国外へ積極的に情報を発信

【参考】

観光庁 令和4年度補正予算関係

- 世界の成長を取り込み、高い経済波及効果を地域にもたらす**観光は「成長戦略の柱」、「地域活性化の切り札」。**
- 観光立国の復活に向け、足元の円安メリットを活かし、**インバウンドの本格的な回復に向けた集中的取り組み**を実施しつつ、**観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高める**取組を強力に推進し、インバウンド消費5兆円超の速やかな達成を目指す。

1. インバウンドの本格的な回復に向けた集中的な取組等【約257億円】

● 観光再始動事業

- ・文化、自然、食、スポーツ等の分野で特別な体験や期間限定の取組を創出するとともに、強力なプロモーションを実施



文化



自然



食



スポーツ



エンターテインメント



Enjoy my Japan

JNTOと連携したプロモーション

©SUMMER SONIC 2022

● 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

- ・高付加価値旅行者層の取り込みに向け、全国10カ所程度のモデル観光地の計画策定・コンテンツ造成等を集中的に支援

● インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援

- ・特に地方への誘客、地方での消費拡大の促進のため、地域に根差した観光資源の一つ一つを、インバウンド向けに磨き上げ

※上記に加え、MICE誘致支援、スノーリゾート形成や歴史的資源を活用した観光まちづくり等を実施



2. 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化【約1,500億円】

● 観光地再生・高付加価値化事業の拡充

- ・地域一体となった面的な宿泊施設の改修、廃屋撤去等による観光地の再生・高付加価値化を促進するため、以下の点を拡充
 - 複数年度（2～3年）にわたる支援の実施
 - 観光施設改修の補助上限引き上げ
 - 面的DX化（地域一体でのキャッシュレス化等）を補助メニューに追加



宿泊施設の大規模改修



廃屋撤去

3. 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業【約243億】

● 観光施設や交通機関の受入環境整備

- ・訪日外国人客を受け入れる医療機関におけるキャッシュレス決済環境や多言語化対応の整備支援
- ・観光施設や交通機関における感染症対策等支援
- ・航空等公共交通におけるストレスフリーで快適な旅行環境整備



キャッシュレス

● 宿泊施設・観光施設における省エネ性能の向上

- ・省エネ性能の高い設備等の導入を支援



ボイラー